



法政大学 グローバル教育センター事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL : 03-3264-4088 E-mail : globaledu@hosei.ac.jp

<http://www.global.hosei.ac.jp/>

2020年3月発行





# 課題解決先進国日本から サステナブル社会を構想する グローバル大学を目指して！

2020年度は、本学が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されて、7年目を迎えます。

2023年度が最終年度にあたりますので、同事業の終盤に差しかかることになります。

事業構想どおりに実行するには解決すべき課題はありますが、

本学の「グローバル化」は着実に進捗しています。

引き続き“法政大学ならではの”取り組みを一步一步進めていきます。



## スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

## Hosei University Charter

### Practical Wisdom for Freedom

Hosei University was founded by a group of ambitious young men at the beginning of the modern era in Japan for ordinary citizens who had become aware of human rights and sought a knowledge of the law.

As the school song says, Hosei University is a place where “good teachers and good friends gather.” The university has always fostered a “free academic atmosphere” in which the rights of others are respected and diversity is accepted and a “pioneering spirit” which is not bound by convention and aims at building a fair society.

Carrying on the legacy of the university's founders, our mission is to pass on this free academic atmosphere and pioneering spirit to the next generation and contribute to solving the problems of the world.

In order to fulfill this mission, the university strives to support farsighted research from a variety of points of view and educate students to become independent citizens who carry out their work for the society and the people based on well-grounded principles and unrestricted thinking.

Hosei University promotes sound critical thinking based on sympathy for all people, both locally and internationally, and the creation of ideas for solving social problems based on practical wisdom. In cooperation with its many graduates, who have the ability to live anywhere in the world, Hosei University will contribute to the future of sustainable societies.

「法政大学憲章」(英語版)

法政大学は、2030年に創立

150周年を迎えます。私は

総長に立候補するにあつ

て、創立150年という大き

な節目をめざす長期ビジョ

ン“HOSEI 2030”を構想

し、賛同を得ました。2014

年の就任後、早速タスク

フォースを設置し、検討を重ね、2030年の本学の姿を展望

したHOSEI 2030のビジョンを策定しました。またその過

程で、「ダイバーシティ宣言」を行い、「法政大学憲章」を制

定しました。「法政大学憲章」は、本学の約束として「自由

を生き抜く実践知」を冒頭に掲げています。「自由を生き抜

く実践知」とは、それぞれが生きる現実の中で、自由を生

き抜くことを理想とし、その実現のために課題解決を続け

る知性のことです。HOSEI 2030の根幹であり本学のスー

パーグローバル大学構想にも繋がる重要な理念です。今後

もこれらの憲章、ミッション、ビジョン、そしてダイバー

シティ宣言に基づき、スーパーグローバル大学構想を含む

HOSEI 2030を実行していきます。法政大学の新しい展開

に注目し続けてください。

法政大学 総長  
田中 優子



## INDEX

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 巻頭.....                     | 01～02 |
| 法政大学のグローバル化へのビジョン.....      | 03～04 |
| グローバル人材育成のイメージ.....         | 05～06 |
| 語学教育プログラム.....              | 07～08 |
| 外国人留学生の受入れ.....             | 09～10 |
| 国際交流プログラム.....              | 11～12 |
| 派遣・認定海外留学制度.....            | 13～14 |
| 特徴的な海外留学・インターンシッププログラム..... | 15～16 |
| 海外交流協定大学.....               | 17～18 |
| グローバル化に対応した仕組みづくり.....      | 19～20 |
| グローバル化の歩み.....              | 21～22 |



# 法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成を目指して、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

## グローバル化対応・体制の構築

- 総長のリーダーシップ
- 長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定
- ICT基盤とIR機能の強化充実

## 課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化  
地球規模の環境問題  
少子高齢化  
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換  
エネルギー・公害問題への挑戦  
健康・医療、予防福祉の発展  
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYを目指します。

## 日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

### 法政大学の取り組み

- 1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロントランナーを育成する教育プログラム
- 2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル化社会への発信力の強化
- 3 サステイナブルなグローバル社会の基礎づくりに向けた中等教育支援
- 4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし
- 5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定ができる体制の構築

### 大学理念

- 「自由と進歩」の精神でなにごとにも絶えず挑戦し、新しい伝統を創造し続ける
- 自立的で人間力豊かなリーダー育成、最先端に行く高度な研究を推進する
- 教育・研究の成果を社会に還元、持続可能な地球社会の構築に貢献する

受入れ留学生



3,000人

海外留学（単位取得）



1,500人

海外協定校



250校

連携高校（国内・海外）



110校

グローバルアクティビティ  
体験率



100%

英語による学位取得



7コース

外国人等教員  
外国での教員研究歴のある  
日本人を含む



60%

外国語による授業



10%

CEFR B1取得  
TOEFL ITP® 500点相当



48.1%

社会人の  
学びなおしプログラム



1,200人



# グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、  
既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、  
持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成を目指します。  
実践的な語学教育、学内外での国際交流、  
海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

## 1 年次

### 語学力と異文化理解力を養成

- ERP (英語強化プログラム) P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P16へ
- 短期語学研修 P15へ

## 2 年次

### 語学力を生かして専門知識を習得

- ESOP (交換留学生受入れプログラム) 科目 P10へ
- 学部教育課程における海外留学 P16へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

## 3 年次

### 学んだ知識を海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P13へ

## 4 年次

### グローバル社会で生きる力へ!

- 国際インターンシップ P16へ
- 国際キャリア支援セミナー P20へ

国際機関への  
就職・活躍

海外  
大学院

40の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、  
国際理解を深めていきます。

留学生と  
交流する

### ERP (英語強化プログラム) などを受講 P7へ

市ヶ谷、多摩、小金井の全てのキャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP (英語強化プログラム)」や学内英会話講座を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。



### グローバル・オープン科目などを履修 P8へ

グローバル・オープン科目やESOP (交換留学生受入れプログラム) の科目に参加することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。



### Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



### 留学生と交流する P11へ

法政大学には多くの外国人留学生が在籍しています。GラウンジやJラウンジ、多言語カフェで積極的に外国人留学生と交流することで、大学にいながらにしてグローバルな視点を養うことができます。



### 派遣留学などに参加 P13へ

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



### 国際ボランティア・インターンシップに参加 P16へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



### 国際キャリア支援セミナーに参加 P20へ

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。





# 語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことができます。



## ERP (英語強化プログラム)

### English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成、およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。

#### ■ERP科目名

| レベル | 開講科目                                                     |
|-----|----------------------------------------------------------|
| CE1 | Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II        |
|     | Writing & Discussion: Intermediate I,II                  |
| CE2 | Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II |
|     | Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II           |
| CE3 | Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II            |
|     | Writing & Discussion: Advanced I,II                      |

\*英語スコアによってレベル分けを行っています。

 **1** listening speaking  
reading writing  
4技能統合型のカリキュラム

 **2** 外国人講師  
による指導  
実践的な英語力の養成

 **3** 少人数授業  
1クラス15名程度の  
双方向授業



さらに詳しい情報は▶



<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

## グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。グローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。

ERPなどによりTOEFL iBT® 80以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるGIS (グローバル教養学部) の公開科目を履修できます。



## TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC® IPを年1回3キャンパスで一斉に実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。

## TOEFL®・TOEIC®講座

春学期・秋学期中に各キャンパスで受講できる有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL iBT® 講座と、2レベルで展開するTOEIC® L&R講座があります。いずれも2ヶ月間全8回(週1回クラス)の集中授業で学びます。

## ESOP科目

本学協定校より派遣される世界各国の交換留学生と共に日本の文化や社会、政治、経済などのテーマを英語のゼミ形式で学びます。

▶詳しくは10ページ

## Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。英会話に苦手意識のある学生を対象に、初級者向け「Step-up Island」を開き、話すことに慣れる環境を用意しています。

また、市ヶ谷キャンパスGラウンジに隣接するコーナーでは、曜日により、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語で交流できる「多言語カフェ」が開かれています。それぞれの言葉を母語とする留学生と学習している学生、留学から帰国した学生たちが集い、諸外国語でのコミュニケーションを楽しむことができます。



## Every Day 英会話 ~ Four Seasons English ~

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。少人数グループのレッスンで、英語に慣れていない人でも安心してチャレンジできます。

## GIS (グローバル教養学部) 語学検定試験受験料補助

GIS (グローバル教養学部) では英語の検定試験受験料を補助し、語学力の向上を支援しています。



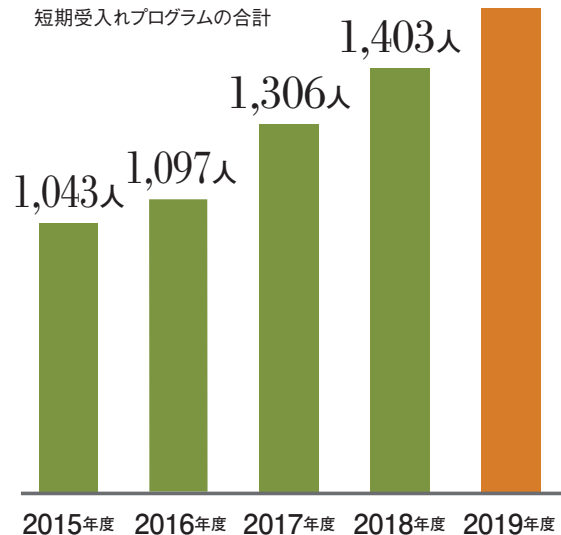
# 外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、  
キャンパスのさらなるグローバル化を目指します。



## ● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、  
短期受入れプログラムの合計



出身国・地域 2019年度



## 外国人留学生 (正規留学生受入れ)

大学・大学院合わせて934人の留学生が学位取得を目指して、日本人学生とともに勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えています。

留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金、留学生も入居できる学生寮を用意し、受入れ体制を整えています。また、日本での就職を考える留学生を対象に就職活動に役立つ日本語講座や企業説明会を積極的に実施し、就職支援を行っています。今後も多様な入試制度の導入、英語による学位コースの新設等により、さらなる留学生の受入れを目指しています。



## ESOP (交換留学生受入れプログラム)

海外の協定校から、半年から1年間の交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいなから留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。2018年度は178名、2019年度は162名の留学生が本プログラムに参加しました。さらに、本学学生も多く受講し、交換留学生の積極的な授業態度に刺激を受けながら交流を深めることができました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することもでき、また、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。



## 日本語教育プログラム (JLP)

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。学生の日本語力に合わせたレベル別授業を展開し、特に上級クラスの学生には、進学・キャリアに役立つ「ブリッジングコース」を充実させています。



## 短期日本語・文化プログラム

海外協定大学の学生を対象に、夏と冬に約2週間の日本語と日本文化を学ぶプログラムを実施しています。日本語だけではなく、日本文化・社会などを学ぶため、浴衣を着ての日本橋散策、国内外で店舗を展開する飲食店グループでの調理体験、富士山麓へのフィールドトリップ等を行います。このプログラムには、約100名の法政大学の学生がボランティアとして参加し、留学生とパティを組み、授業や課外活動のサポートや、空港への出迎えや生活面のサポートなどを行います。授業やさまざまなイベントを通じて交流を図るだけでなく、お互いの文化を比較する中で自国の文化を見つめなおし、異文化を理解する力を養います。



## Voice

小さい頃から日本に憧れていました。いつも夢見ていた日本での暮らしを実現するために、高校卒業後すぐに留学を決意しました。しかし、留学生活は思い描いていたものとは異なり、現実には楽しいことばかりではありません。初めは、言語や文化の壁を感じ、自信を失い、将来への不安を抱えていました。こんな私を変えてくれたのは法政大学です。学部の授業とゼミを通して常に新たな知識を取り入れられることは勿論、多くの友人や教授がいつも優しく私を励ましてくれます。また、大学から推薦を頂き、ロータリー米山奨学生として採用されました。私はこうして、大学で日々刺激を受け、貴重な機会を通じ、徐々に自信を持つようになりました。更に、法政大学で提供しているインターンシップやボランティア活動などに参加し、私は「社会を支えられる人」という将来像を見つけました。卒業後は、社会を支える金融グループのシンクタンク企業に入社し、システムエンジニアとして、社会に不可欠な金融システムを自らの手で支えたいと思います。



王 詩雨さん (写真左)  
外国人留学生 (中華人民共和国)  
経営学部 経営戦略学科 4年生



# 国際交流プログラム

さまざまな国際交流の機会を提供し、  
国際理解を深めています。



## 法政グローバルデイ

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台で活躍する実務者を招いてのさまざまな取り組みの紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。



### 2019年度実施内容

テーマ：無知から夢知へ

- ・国際経験が豊富な3名のパネリストによるパネルディスカッション
- ・留学生との交流、国際協力、グローバルビジネス等の学生企画
- ・グローバル教育センターが主催するプログラムの紹介
- ・学外団体による説明会や個別相談コーナー
- ・交流会（参加者、ゲスト、実行委員との交流）

## Jラウンジ

Jラウンジは、日本語を学ぶ留学生が授業外で日本人学生と交流し、生きた日本語を学び・使う交流スペースです。運営は日本人学生スタッフがボランティアで行い、お昼休みや授業の空き時間を利用して開室しています。

「日本語」でのおしゃべりやイベントを通して、お互いの国や文化について触れることができます。



## HUBs (Hosei University Buddy system)

来日して間もない交換留学生のために、空港・寮の出迎え、大学施設案内、口座開設などさまざまな活動を通じて留学をサポートするボランティアです。また、来日直後だけではなく継続して各種支援を行うことで、留学生が充実した生活を送れるようにサポートします。HUBsに参加した学生は、交換留学生向けのパーティーや体験イベントにも参加することができ、交換留学生との交流をより深めることができます。この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけでなく、留学生の視点で日本を見つめ直すことができ、よりグローバルな視野を身に付けることで、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることができます。



## スピーチコンテスト

### 日本語スピーチコンテスト

本学在籍の留学生が、日本人学生のサポートを受けながら、自由なテーマでスピーチを行うコンテストを実施しています。留学生の日本語能力向上はもちろんのこと、日本人学生にとっても国際交流ができる場となっています。



### 第5回法政大学日本語スピーチコンテスト（ベトナム）

（主催：法政大学 共催：ハノイ国家大学外国語大学）

ベトナム全国の9高校・13大学からの応募者311名の中から、予選を通過した19名が「私を変えた経験」をテーマにハノイ（ベトナム）の決勝会場でスピーチを行いました。2015年度に開始し、在ベトナム日本国大使館等が後援するこのコンテストにはこれまで延700名超の高校生・大学生が参加しました。



## 多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。各国の留学生による歌やダンス、母国の文化についての発表などさまざまな企画を実施しています。

### 2019年度実施内容

各国の一般常識問題に関するクイズ大会、各留学生会によるパフォーマンス、国際交流サークルFiTusによる留学生へのインタビュー動画上映等



## 採択事業 さくらサイエンスプラン （日本・アジア青少年交流事業）

産学官の連携により、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的とする事業で、2015年度以降、ベトナム、台湾、中国、ミャンマー、インドネシアから70名超の学生・教員等を招き、理工系、建築系分野におけるワークショップやプレゼンテーションを行っています。

## スーパーグローバル大学 創成支援事業シンポジウム

2017年12月に、ロンドン大学パークベック・カレッジから教員を招き、イギリスにおける大学界の経験をもとに、大学の持続可能な成長について講演とパネルディスカッションを行いました。2019年3月には国連、産業界、海外大学から講師を招き、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、SDGsの観点から大学教育に期待されることについて議論を深めました。



# 派遣・認定海外留学制度

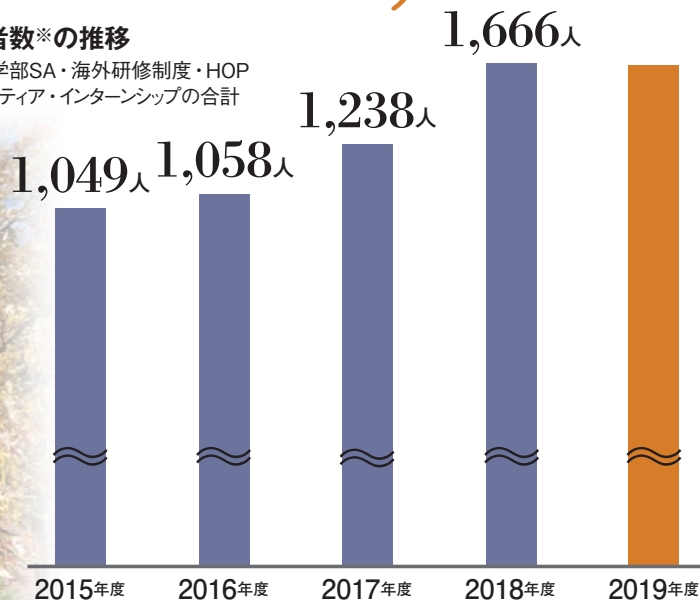


学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。毎年、多くの学生が短期から約1年間の留学を通じて、グローバル人材として求められる豊かな経験を積んでいます。

1,639人

## ●海外留学者数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP  
・海外ボランティア・インターンシップの合計



## 認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(30万円)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25～50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校(アメリカ)、オーストラリア・カンリック大学やボンド大学(オーストラリア)での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。



※上記奨学金は半期留学の場合、半額支給。

### 【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】

|         |        |       |
|---------|--------|-------|
| アメリカ    | イギリス   | カナダ   |
| オーストラリア | 中国     | デンマーク |
| ドイツ     | フィンランド | 台湾    |

## 派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

### ●派遣留学奨学金(半期留学の場合は半額支給)

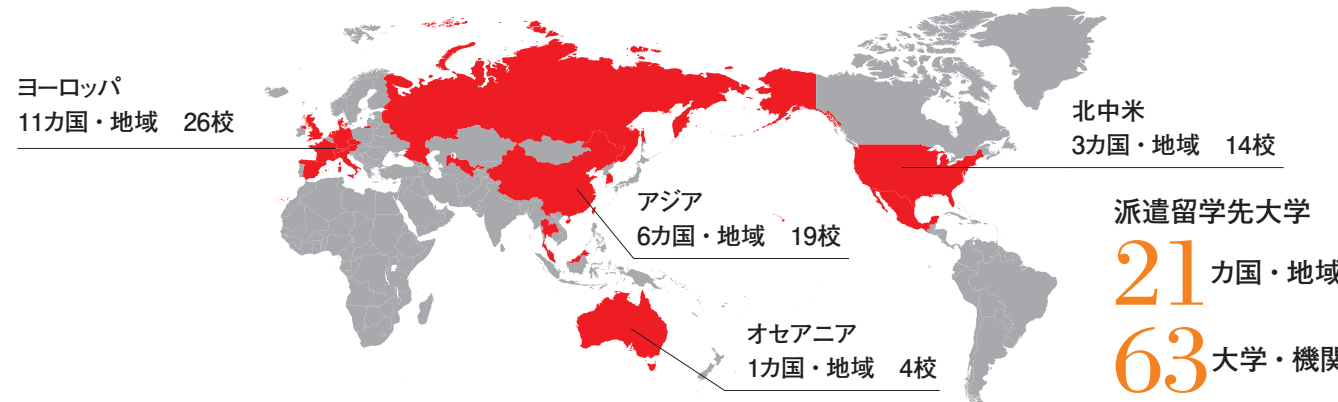
アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ドイツ、オーストラリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100万円

中国、台湾、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

70万円

ヨーロッパ  
11カ国・地域 26校



派遣留学先大学  
21カ国・地域  
63大学・機関

※2020年2月末現在

## Voice

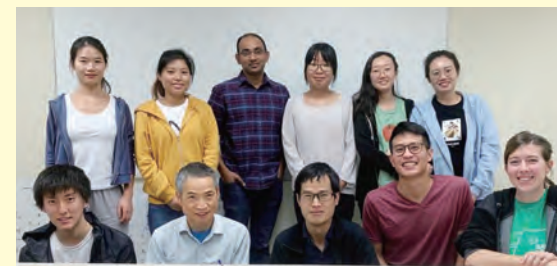
留学を通し、国籍や文化、考え方などさまざまな違いについて経験し学習することができました。その中で一番の学びは主体性です。海外の学生は学習に対し自分の意見や疑問を授業内でしっかり発表し知識を深めていました。これに感銘を受け、授業は自分の考えをアウトプットする場と考え、積極的に発言するなど主体的な学習を心がけていました。また所属していた留学先のバレーボール部では自分達で勝つためのメニューを考えるのが普通であり、実践を積みながらその都度改善し、成長していました。このように留学先では言われたことをただするのではなく、個人またはチームで考え、行動するというプロセスが一般化されていました。この気づきは自分がこれから仕事をしていく上で大きな成長に繋がると確信しています。派遣留学に参加することでこのような大きな一歩を踏み出したこと、心より感謝しています。



吉田 宙夢さん(写真最後列左から7番目)  
2018年度シェフィールド大学(イギリス) 派遣留学生  
経済学部 現代ビジネス学科

## Voice

私が今大学院生としてアメリカの大学に留学するとは、法政大学の入学当初は想像もしていませんでした。そのきっかけを作ってくれたのが派遣留学であり、ウィスコンシン大学での留学経験が今の大学院生活で役立ち活きています。授業では学生同士のディスカッションが多かったため、積極性が身に付いた他、研究室に所属させていただき、進捗発表や論文発表、レポートの作成などのとても貴重な経験を積むことができました。プライベートでは現地の剣道クラブに参加し、大会や出稽古に行き多くの人々と交流を深めることによって、スピーキングを高めることができたと思います。今はケンタッキー大学で植物病理学の研究員として授業を取りつつ学んでいます。採用の際にウィスコンシン大学での留学経験が評価されたと聞きました。派遣留学によって、アメリカの大学院への進学を叶えることができ、私の可能性を大きく広げることができました。



黒川 達嗣さん(写真前列左から1番目)  
2017年度ウィスコンシン大学ミルウォーキー校(アメリカ) 派遣留学生  
所属：ケンタッキー大学(アメリカ) Ph.D. student, Department of Plant Pathology, College of Agriculture, Food and Environment  
(2018年度生命科学部 応用植物科学科卒業生)



# 特徴的な海外留学・インターンシッププログラム

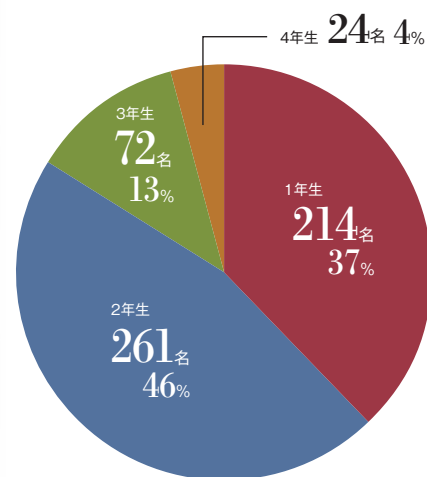
法政大学では派遣留学制度や認定海外留学制度のほかにも、さまざまなプログラムがあります。自分自身の目的やレベルにあった留学制度を利用し、グローバルに活躍できる人材としてのステップアップを図ることができます。



## 短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ・カナダ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語・夏季のみ）、フランス（フランス語）の各協定大学で2～4週間程度実施する留学制度です。全学部の一学年対象で、語学レベルや成績に関係なく応募が可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者までを対象としており、初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

●過去3年間の学年別参加者数  
※夏季・春季の合計



## トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

文部科学省および支援企業から返済不要の奨学金（月額6～16万円）や留学準備金（15～25万円）などのサポートを受けて、インターンシップやボランティアなどの実践活動を含む自分自身の留学計画を実行するプログラムです。法政大学もこのプログラムに応募・参加する学生のサポートを行っています。

### 過去のトビタテ! 留学JAPAN留学先／テーマ

イギリス／2020年東京オリンピックレガシーへと繋ぐ、ロンドンの水都研究  
アメリカ／目指せ、植物の病気を治すプラントドクター～食糧問題を解決するために～タイ／ファーストステップ! ～私の夢は、発電プラント建設 in Thailand!～  
メキシコ／第二の故郷から広がる視点～私にしかできない日墨貧困調査～  
デンマーク／人々が豊かに暮らす国デンマークで人間のための都市・建築と「シェアの思想」を学ぶ  
カナダ／誰もが山を楽しめる社会へ 入山料制度の構築に挑む



## 学部独自の留学・海外研修制度

文学部英文学科、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、GIS（グローバル教養学部）、経済学部、社会学部、情報科学部、理工学部、生命科学部において、学部独自のスタディ・アブロード（SA）・プログラムがカリキュラムに組み込まれています。

また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。法学部国際政治学科のオックスフォード大学などで短期研修を行うHosei Oxford Programme（HOP）や、文学部哲学科のフランスとドイツの大学で合同ゼミを行う国際哲学特講、国際文化学部では東・東南アジアでの海外フィールドスクールを行っています。このほかにも、人間環境学部では海外での環境問題の見聞を広めることを目的とした海外フィールドスタディ、現代福祉学部では、デンマークなどの福祉先進国で行う海外研修制度、スポーツ健康学の知識を深めるスポーツ健康学部の海外課外研修、デザイン工学部システムデザイン学科のフィリピンで英語を学びながらシステムデザインについて学ぶことのできる海外派遣プログラムなどがあります。

## 国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。派遣先で必要としている活動に、他国の留学生とともに参加する「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季（8～9月）および春季（2～3月）休暇中の2週間～4週間程度です。

### 2019年度 国際ボランティア／国際インターンシップ募集プログラム

- ・東南アジア各国・日本各地での国際ワークキャンプ
- ・メコン川流域圏での教育支援活動
- ・ベトナム現地企業での実務研修
- ・フィリピンでの農民支援プロジェクトにおける実務研修
- ・ルーマニアの公共・市民・民間セクターでの実務研修
- ・アメリカ・中国の大学での日本語・日本文化教育実務研修
- ・マレーシアでの大手日系書店による実務研修



## Voice

将来は海外で働きたいというビジョンがあり、グローバル教育センターが主催している国際インターンシップへの参加を決めました。勤務先はベトナムのダナンにある旅行会社を選び、約3週間のインターンシップを通じて、日本人観光客向けの旅行プランを作成しました。プログラム全体を通じて、自分が最も重要だと感じたことは「積極的に相手を理解しようとする姿勢」です。現地のベトナム人スタッフと仕事をするにあたり、最初は文化や言語の壁があり、苦勞をしました。しかし、自分から積極的に相手を知りたいという姿勢を見せることで、次第に相手も心を開いてくれ、円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。海外で働くうえで、言語能力は大切な要素かもしれませんが、こういった気持ちの部分も実は大切だということに気づくことができました。皆さんも積極的に新しいことにチャレンジしてみてください。



押田 悠希さん（写真右）

2019年度夏季国際インターンシップ（FPT大学・ベトナム）参加  
法学部 国際政治学科 3年生（参加当時）



# 海外交流協定大学

● 派遣留学

● 短期語学研修

● SA※

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界44カ国・地域において、251大学・機関（2020年2月末現在）との間で

学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流  
協定大学

# 251

※2020年2月末現在

44カ国・地域

## 大学・機関



### イギリス United Kingdom

ロンドン大学ロイヤルホロウェイカレッジ  
シェフィールド大学 ● ●  
ノッティンガム大学  
グラスゴー大学  
リーズ大学 ● ●  
ニューカッスル・アポン・タイン大学 ●  
サセックス大学 ●  
ブラッドフォード大学 ●  
ヨーク大学  
ロンドン大学バーベック・カレッジ ●  
ウルヴァーハンプトン大学



### ドイツ Germany

フンボルト大学  
オルデンブルク大学  
ロイファナ-リュネブルク大学  
ベルリン国際応用科学大学  
バーデン=ヴェルテンベルク・デュアルシステム大学 ●  
ブレーメン大学 ●  
シュトゥットガルト工科大学 ●  
ブレーマーハーフェン応用科学大学



### スイス連邦 Switzerland

スイス連邦工科大学チューリッヒ校  
サンクトガレン大学 ● ●  
チューリッヒ大学  
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門



### デンマーク Denmark

ロスキレ大学  
オールボー大学 ●



### オランダ Netherlands

NHLステンデン応用科学大学 ●



### チェコ Czech

チェコ工科大学 ●



### オーストリア Austria

ウィーン大学 ● ●



### ハンガリー Hungary

コルヴィナス大学 (旧：ブダペスト経済大学)



### ルーマニア Romania

バベシュ・ボヤイ大学



### ポーランド Poland

社会科学大学  
コスミンスキ大学



### モンゴル Mongolia

モンゴル国立大学



### ロシア Russia

ロシア科学アカデミー東洋学研究所  
モスクワ国立大学 ●  
サンクトペテルブルク国立大学 ● ●  
ペテルブルク国立交通工科大学 ●  
国立研究大学高等経済学院 ●  
ペンザ国立大学  
N.I.グロデコフ名称ハバロフスク地方考古博物館



### 中国 China

北京大学  
北京大学政府管理学院  
上海外国語大学 ● ●  
中国国家外国專家局  
上海交通大学  
北京師範大学 ●  
北京外国語大学  
北京日本学術センター  
山東財経大学  
大連民族学院  
武漢大学

四川外国語大学  
中央民族大学 ●  
遼寧大学国際関係学院  
福州大学  
大連外国語大学  
首都師範大学 ●  
北京科技大学  
重慶師範大学  
外交学院  
清華大学国際コミュニケーションセンター  
西南交通大学

龍門石窟研究院  
天津外国語大学  
北京語言大学 ●  
對外經濟貿易大学  
福建師範大学  
大連大学  
東北大学秦皇島分校  
山東大学 ●  
済南大学  
山東協和学院  
西南民族大学

華僑大学  
少林寺  
復旦大学文物興博物館学系  
西北工業大学  
華南理工大学  
模範的ソフトウェア学院連盟  
西安交通大学  
北京交通大学  
吉林大学軟件学院  
中国科学技術大学  
西安電子科技大学

厦門大学  
華中科技大学  
中南大学軟件学院  
東北大学  
大連理工大学  
東南大学  
華東師範大学  
天津大学  
西安科技大学  
大連工業大学



### 韓国 Korea

延世大学 ●  
延世大学地域発展研究所  
延世大学政経大学院  
徳成女子大学 ●  
聖公会大学社会史研究所  
嘉泉大学  
ソウル大学経営学部  
ソウル大学日本研究所  
高麗大学  
梨花女子大学 ●

仁荷大学産業経済研究所  
アジア気候変動教育センター  
ソウル市立大学 ● ●  
誠信女子大学  
韓国外国語大学 ●  
中央大学  
建国大学 ● ●  
京畿大学  
釜山外国語大学  
湖西大学



### カナダ Canada

プリティッシュ・コロンビア大学  
アルバータ大学 ●  
トロント大学 ●  
ブロック大学 ●  
ヨーク大学 ●  
トレント大学 ●  
プリンスエドワードアイランド大学 ●  
ヴィクトリア大学 ●



### バハマ Bahamas

バハマ大学



### アメリカ合衆国 U.S.A.

トルーマン州立大学 ●  
ベイラー大学 ●  
カリフォルニア大学ディヴィス校 ● ●  
ミシガン州立大学 ●  
ボストン大学 ●  
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●  
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●  
ネバダ大学リノ校 ● ●  
ボイシー州立大学 ●  
サンホセ州立大学 ●  
フォントボン大学 ●  
サンディエゴ州立大学 ●

南カリフォルニア建築大学  
ガステイバス・アドルフファス大学 ●  
ウェストチェスター大学 ●  
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●  
ミネソタ州立大学マンケート校 ●  
メタイル大学  
ポートランド州立大学 ●  
ウェストフィールド州立大学 ●  
ユタ大学  
ジョージ・メイソン大学 ●  
ニュー・スクール大学  
カンザス大学



### 台湾 Taiwan

國立中山大學 ●  
淡江大学 ● ●  
文藻外語大学  
中原大学  
國立虎尾科技大學  
國立雲林科技大學  
國立高雄師範大學  
實踐大学

國立台灣師範大學 ●  
國立政治大学 ●  
元智大学 ●  
輔仁大学  
國立高雄大學  
國立暨南國際大學  
中信金融管理学院  
國立中央大学



### メキシコ Mexico

アナウアク大学  
グアダハラ大学 ●



### アルゼンチン Argentina

国立ラプラタ大学



### ニュージーランド New Zealand

マッセイ大学 ●  
オークランド大学 ●  
オタゴ・ポリテクニク



### アイルランド Ireland

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●  
リムリック大学 ●



### フランス France

リヨン第三大学 ●  
西部カトリック大学 ● ●  
パリ・ディドロ (第七) 大学 ●  
ヴェルサイユ大学理工学部 ●  
エクス・マルセイユ大学  
ストラスブール大学 ●  
キャンパスフランス ●  
サンジェルマン・アン・レー政治学院 ●  
ISG



### スペイン Spain

バルセロナ大学 ● ●  
ラモン・リュイ財団 EUS  
ビック大学 ●



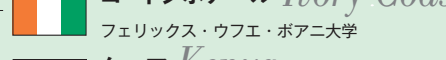
### アルバニア Albania

ティラナ工科大学



### セルビア Serbia

ニシュ大学



### ブルキナファソ Burkina Faso

ワガ第一ジョセフ・キ・ゼルボ大学



### エチオピア Ethiopia

メケレ大学



### アルジェリア Algeria

アルジェ大学



### コートジボアール Ivory Coast

フェリックス・ウフェ・ボアニ大学



### ケニア Kenya

カラティナ大学



### イタリア Italy

カルロ・カッターネオ大学 ●  
ヴェネツィア大学 ●  
ミラノ工科大学  
トリノ工科大学



### ネパール Nepal

トリブバン大学



### ウズベキスタン Uzbekistan

タシケント国立東洋学大学 ●  
サマルカンド国立大学



### インド India

インド科学大学院大学



### マレーシア Malaysia

アジアパシフィックテクノロジー  
&イノベーション大学 ●  
マラヤ大学 ●  
マレーシア工科大学  
UCSI大学 ●  
マラ工科大学機械工学部  
マレーシア科学大学  
プトラマレーシア大学



### カンボジア Cambodia

カンボジアメコン大学  
ベルティ大学  
王立プノンベン大学



### インドネシア Indonesia

サナタダルマ大学  
ボゴール農業大学  
スラバヤ工科大学  
ビーナス大学  
アトマジャヤジョグジャカルタ大学



### フィリピン Philippines

南フィリピン大学 ●



### タイ Thailand

タマサート大学 ●  
チュラロンコン大学 ●  
シーナカリンウィロート大学  
UCSI大学 ●  
マラ工科大学機械工学部  
マレーシア科学大学  
プトラマレーシア大学



### ラオス Laos

ラオス国立大学



### オーストラリア Australia

シドニー大学 ●  
グリフィス大学  
アデレード大学 ● ●  
モナシュ大学 ●  
ボンド大学 ● ●  
オーストラリア・カソリック大学 ●





# グローバル化に対応した仕組みづくり

大学に求められるグローバル化への対応は、ますます多様化しています。  
多様な人材を受け入れ、世界のどこでも活躍できる人材を育成する教育環境として、英語だけで学位を取得できる課程を提供しています。  
また、国内外の機関と協力できるよう、大学の体制構築と仕組みづくりを推進しています。

## 英語による学位取得のための課程



**GIS (グローバル教養学部)**  
Faculty of Global and Interdisciplinary Studies

少人数教育環境のもと、新しい時代のリベラル・アーツのプログラムを有する学部です。地球規模で刻々と変化する社会事象に対応できる、自立的で人間力豊かな人材の育成を目指します。



**GBP (経営学部)**  
Global Business Program

「アジアの世紀」と言われる21世紀のグローバルなビジネス社会で活躍し、牽引できる人材を育成するため、英語で行う授業とともに日本企業のグローバルビジネスを実体験できる科目群を設置しています。



**SCOPE (人間環境学部)**  
Sustainability Co-creation Programme

「持続可能な社会」とはどのようなものか、どのようにそこにたどりつくのか、という、あらかじめ定められた答えのない問いに取り組むために必要な力を涵養することを目的とします。



**IGESS**  
(グローバル経済学・社会科学インスティテュート)  
Institute for Global Economics and Social Sciences

経済学・社会科学の専門知識を応用し、課題解決に取り組み、サステナブルな社会を構築できるような能力の涵養を目指します。多摩キャンパスの学部横断型インスティテュートです。



**IIST**  
(総合理工学インスティテュート)  
Institute of Integrated Science and Technology

大学院理工学研究科と情報科学研究科の連携により、サステナブルなグローバル社会を支える総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラムを設置しています。



**Global MBA**  
(経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)  
Global MBA Program

実務経験3年以上の方を対象に、英語で日本のビジネス慣習、日本企業、日本の経営スタイルを学び、平日夜間と土曜の通学1.5年で修了できるMBAプログラムを提供しています。

## グローバル・ポイント制度

### プログラム参加経験の数値化

海外留学や語学研修など大学が指定するプログラムへの参加についてポイントを付与します。一定のポイントを獲得した学生には、本学スーパーグローバル大学創成支援事業のロールモデルとして表彰します。

## 法政ミーティング

### 卒業生のグローバル・ネットワークの構築

海外在住の卒業生の集いを開催しています。これまでにロンドン、パリ、ニューヨーク等の都市で実施しました。世界各地で活躍する卒業生と大学のつながりを推進していきます。

## 学生寮(留学生混住寮)の整備

### 留学生のための寮の拡充と学生間交流

本学には専用寮、優先寮、推薦寮とさまざまなタイプの学生寮があります。留学生が入居している混住型の寮では日本人学生との交流も図れ、専用寮ではRA (レジデント・アシスタント) が生活のサポートやイベントの企画をしています。2019年の春より新たな専用寮が駒込にオープンしました。

## グローバル化に対応した入試制度

### 語学力や留学経験等が生かせる入試の実施

- **英語外部試験利用入試 (一般入試)**  
TOEFL®などの英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした入試制度。
- **英語外部試験利用自己推薦特別入試**  
経済学部で実施している、英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした自己推薦特別入試制度。

### ● 外国人留学生入試

外国人留学生を対象に、書類選考と面接試験を実施する入試 (前期日程)、渡日前でも受験できる書類選考のみによる入試 (後期日程)、日本語学校・海外高校を対象とした指定校推薦入試を実施。

### ● グローバル体験公募推薦入試

海外高校への留学経験者を対象にした学校長推薦による入試制度。

### ● 国際バカロレア利用自己推薦入試

国際バカロレア資格取得者を対象とした入試制度。

## 国際キャリア支援プログラム

学生が留学等の海外プログラムでの経験を将来のキャリアにつなげ、グローバルに活躍する人材へと成長できるよう、さまざまなセミナーやワークショップを実施しています。2019年度からは、海外プログラム参加前後の時期に応じた段階的なプログラム構成へと発展させました。



グローバル人材として  
社会で活躍

- 採用直結型イベント
- 留学経験者向け学内企業説明会

海外プログラム参加後各種セミナー

学内外の海外プログラムに参加

海外プログラム参加前各種セミナー

海外留学・就職活動セミナー

1年次

2年次

3年次

4年次





# グローバル化の歩み

# History

# of Globalizing Hosei

法政大学は、これまで130年を超える歴史において、自由の尊重、進取の気象という伝統を育み、「自由と進歩」という校風を形成してきました。その精神を受け継ぎながら、学生交流や学術交流に積極的に取り組み、グローバル化を推進してきました。法政大学は、これからも新たな改革に挑み、地球社会のさまざまな課題解決に寄与する大学を実現していきます。

**1880年代**  
**ボアソナード博士の法学学校**  
政府の法律顧問としてフランスより来日したボアソナード博士は1883年、のちの法政大学となる東京法学学校の教頭に就任。以後10年間、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに重要な役割を果たしました。

**1931年**  
**「青年日本号」の訪欧飛行**  
1931年5月29日、東京飛行場（現・羽田空港）からイタリア・ローマを目指して飛び立った複葉プロペラ機「青年日本号」。

**1975年**  
**法政大学ロンドン分室を設置**  
イギリスにおける本学の教育研究拠点を整備。2007年9月には法政大学ヨーロッパ研究センターとして改組。

**1979年**  
**奨学金留学制度の開始**  
法政大学創立100周年を記念して、財界、学生保護者、校友、教職員などによる寄付金の一部から「法政大学国際交流基金」を創設。本学の学生を海外へ送り出す奨学金留学制度（現・派遣留学制度）が発足しました。これは当時、他大学に類を見ない本学独自の制度で、海外の大学・研究機関との協定締結、本学学生の海外派遣、海外大学からの交換留学生受入れなどに早くから取り組んでいました。

**1999年**  
**国際文化学部設置とスタディ・アブロード・プログラムの開始**  
市ヶ谷キャンパスに国際文化学部を開設。国際社会人の育成を目指し、学部生全員が2年次に世界の7言語圏に広がる協定大学のいずれかに留学する必修留学制度スタディ・アブロード（SA）・プログラムを導入。

**2007年**  
**法政大学ヨーロッパ研究センター（チューリッヒ）の開所**  
チューリッヒにヨーロッパにおける海外研究拠点を拡充。

2000～

1880～

1900～

**1903年**  
**梅謙次郎博士の初代総理就任**  
専門学校令により学校名が法政大学となり、梅謙次郎博士が初代総理（現在の総長）に就任。博士は、中国人留学生を対象とした「法政速成科」や英・独・仏の語学教育のための「語学科」を開設するなど、世界的視野で多角的な教育改革を推進しました。この「開かれた教育」の精神は、今日の本学に受け継がれています。

**1904年**  
**清国留学生法政速成科**  
清国留学生法政速成科を開設。法政大学および法政速成科には、辛亥革命の指導者や中華民国の中心的存在となった人々が、留学生として多く在学していました。

**1977年**  
**国際交流センターの新設**  
国際交流に関する調査や資料の収集、交換、受入れ外国人研究者への協力、外国人留学生に対する学習上・生活上の援助などの業務を全面的に担当する専門部局として、国際交流センターを設置しました。

**1997年**  
**交換留学生受入れプログラムの開設**  
これまで交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるため、英語を教育言語としたESOP（交換留学生受入れプログラム）を開設。ここでは日本語習得以外の全ての授業が英語で行われ、日本文学、社会、政治、経済などのテーマを中心に、米国や英国のようにゼミ形式中心の授業を行っています。英語による授業は、交換留学生だけではなく本学学生も受講でき、日本人学生が海外に留学する準備の役割も果たしています。

**2006年**  
**グローバル学際研究インスティテュート（IGIS）の設置**  
IGIS（グローバル教養学部）の基盤となった学部横断型国際教育プログラムを開設しました。

**2008年**  
**グローバル教養学部設置と全科目英語化の実施**  
市ヶ谷キャンパスにIGIS（グローバル教養学部）を開設。学問領域の枠組みにとらわれず、高い英語運用能力を身に付けた人材の育成を目指し、原則として全ての授業を英語で行うカリキュラムを実施。

**2000年**  
**法政大学アメリカ研究所の開所**  
カリフォルニア州にアメリカにおける海外研究拠点を整備。



ボアソナード博士



梅謙次郎博士



**2012年**  
**グローバル人材開発センターの設置**  
グローバル人材育成推進事業を推進するための組織として、グローバル人材開発センターを設置。

**文部科学省「グローバル人材育成推進事業」に採択**  
文部科学省は、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、教育のグローバル化を推進する取り組みを行う大学に対して、重点的に財政支援する補助金事業を実施。本学はこれに採択され、グローバル化への取り組みが多様化。本事業は、現在は「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に組み替えられています。

**日本台湾教育センターが市ヶ谷キャンパスに開所**

**法政大学北京事務所の開所**

**2013年**  
**法政大学台湾事務所の開所**  
本学との協定校である淡江大学（台湾）の台北キャンパスに海外窓口を拡充。

**ERP（英語強化プログラム）の開始とGラウンジの開設**  
キャンパスや学年に関係なく、日常的にネイティブスピーカーから学べる英語学習環境を整備。

**国際ボランティア・インターンシップの開始**  
留学制度に加え、ボランティアやインターンシップなどの海外プログラムを多様化。

**2014年**  
**グローバル戦略本部とグローバル教育センターの設置**  
総長を本部長とするグローバル戦略本部を設置し、それまでの国際交流センターとグローバル人材開発センターを改組したグローバル教育センターを開設。日本社会のグローバル化を牽引し、サステナブル社会の実現を目指すため、全学で取り組める運営体制を組織しました。

**文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択**  
文部科学省は、日本の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進めるグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行う補助金事業を実施。本学はこれに採択され、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」と併せて、グローバル化への取り組みがさらに拡充しました。

**法政大学グローバルポリシーの制定**  
グローバルポリシーを制定し、「世界に開かれた大学」、「市民に開かれた大学」、「多様な知に開かれた大学」を基本理念に据え、2023年までの10年間をかけて「持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学」を目指しています。

**2015年**  
**法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所**  
**英語学位プログラム Global MBAの設置**

**2017年**  
**日本語教育プログラムの開始**  
主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

**2016年**  
**法政大学ベトナム・ハノイ事務所の開所**  
**法政大学ダイバーシティ宣言の制定**  
大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

**サステナブル社会の科目群の開始**

**グローバル・オープン科目群の開始**

**グローバル化に対応した入試制度改革**

**英語学位プログラム SCOPE・GBP・IISTの設置**



2019年度秋季入学式